６．北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連	良くなっている	－	－	－
	やや良くなっている	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・９月はプロ野球の優勝記念セールという特殊要因により、来客数は前年比13%増加している。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・客単価は相変わらず前年を下回っているが、最近３、４か月間は来客数が前年を上回り、客単価の落ち込み分をカバーしている。食品については、必要な分だけ必要な都度購入するという態度が客に見受けられる。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・９月は秋らしい天候になり、客にも秋物を少しは買おうという雰囲気が感じられる。商店街の通行量も増えており、買物袋の中身も少し多くなっている。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・最近発売された新型車を中心に、販売台数は前年同月を相当上回る状態が続いている。良い商品があれば、潜在的なマーケットはまだ存在すると考える。
		一般レストラン（店長）	単価の動き	・来客数は変わらないが、客単価がやや上昇している。
		観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊人数は前年同月とほぼ同様に推移しているが、消費単価は３％上昇し、全体の売上は５％増加している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・地元では９月に北陸最大級のショッピングセンターがオープンした。入居する120店舗の関係者が開店前の準備にタクシーを利用したため、運賃収入、運行回数ともに例年の９月に比べて増加した。
		テーマパーク（経営者）	販売量の動き	・９月はテレビコマーシャルなどの広告宣伝効果もあり、来客数は団体を中心に増加している。
	変わらない	商店街（代表者）	それ以外	・輸入農産物や国内果実の農薬問題が発生したため、生産者側は当該農薬不使用の確約書などを添付して出荷しており、店内でもその旨を表示することにより、消費者の信頼回復に努めている。当店ではこれらの影響はあまりないが、仕入価格が大きく変動している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・９月は郊外に北陸最大級のショッピングセンターがオープンしたため、商店街の人通りが更に減少している。
		一般小売店［鮮魚］（店長）	単価の動き	・一品単価が５％程度低下しているが、来客数が５％以上増加しているため、ほぼ現状を維持している。また、１日に何回も来店して購入する客も見られ、まとめ買いがなくなっている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・厳しい残暑で、夏物衣料のセール品の購入期間が長引いたため、その分初秋物に対する客の反応はいまひとつであった。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・９月は月初に夏物を処分するのが例年のパターンであるが、今年は売り急ぎにより在庫が少なくなり、苦戦した。しかし、最近の客は来年用の商品は買わないため、在庫があっても売れたかどうかは分からない。 ・９月後半は若干朝晩の冷え込みはあったものの、温暖な気温で推移したため、秋物の動きは鈍い。客は本当に必要な時にしか買わなくなっている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・来客数は前年同月を上回っているが、客単価が依然低下傾向にあり、来店客の買上率も減少傾向にある。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・９月の来客数、単価、売上ともに前年実績を維持している。月の前半は悪かったものの、中盤以降は気温が下がったため盛り返した。
		スーパー（営業担当）	単価の動き	・一点単価の下げ止まりはあるものの、買上点数が増加しないため、客単価が前年を下回っている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・郊外の超大型ショッピングセンターの開店の影響で、土、日の来客数が減少する傾向にある。これからは顧客の自店に対する認識度をいかに高めていくかが問われている。
		乗用車販売店（経営者）	競争相手の様子	・大幅な値引き攻勢をかけて在庫を現金化し、販売量を確保しようとする動きが各社から出始めている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店（経理担当）	来客数の動き	・９月恒例の大規模イベントの来場者数は前年をかなり下回ったが、目玉の新型車がないにもかかわらず、受注台数は前年と変わっていない。市場は盛り上がりに欠けているが、受注実績の落ち込みは小さい。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・高級セダンの販売を主力にしているが、今月発売した新型ＲＶ車を除き、他の車種の受注はほぼ横ばいで推移している。
		一般レストラン（店長）	販売量の動き	・来客数は増加しているものの、客単価が低下しているため販売量はほとんど変わっていない。
		観光型旅館（経営者）	お客様の様子	・来客数は増加しているが、客の消費態度は慎重である。
		通信会社（営業担当）	単価の動き	・低価格商品に対するニーズは依然として根強く、高品質、高機能商品も価格面の問題から販売量の伸びが鈍化している。
		パチンコ店（店員）	来客数の動き	・客の見切りが早くなり、滞在時間が短くなっている。
	やや悪くなっている	百貨店（営業担当）	それ以外	・９月の上旬は残暑の影響もあって夏物の最終処分品しか動かなかった。中旬には郊外で北陸最大級のショッピングセンターがオープンしたため、客がほとんど奪われた。また、本来なら売れる秋のヒット商品の動きが悪く、相変わらず日常使う商品しか動いていない。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客単価の低下になかなか歯止めがかからない。チラシで目玉商品を打ち出しても、それすら販売量が減っている。 ・客は必要な物を必要な時にしか買わないが、納得する品質やおいしさであれば、点数では少ないものの、ある程度伸びる傾向にある。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・大河ドラマの影響で、観光客の姿はよく見かけるが、大型バスでやってくる団体客が多く、街を回遊する小グループの姿は少ない。
		その他専門店［ガソリンスタンド］（経営者）	競争相手の様子	・石油業界内部の競争がますます激しくなっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・観光客の増加に伴い客室稼働率が上昇している宿泊部門とレストランの通常営業は好調であるが、一般宴会の小型化と受注件数の伸び悩みに加え、人気の高い郊外のゲストハウス型婚礼施設への展開により受注件数が大きく減少した婚礼などの減収により、全体の収入は前年を下回る見通しである。
		都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・宿泊部門は旅行、公演、学会がらみの団体の入り込みが好調で、単価は低下しているが、売上は増加している。また、レストラン部門では単価の低下が従来より鈍化しているものの依然続いている。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・客の来店頻度や美容の内容は従来と変わっていない。
	悪くなっている	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・今までは客単価だけが低下傾向にあったが、来客数の減少も始まり、トータルの売上は落ち込みが続いている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・建設会社が倒産や水面下で息をしている状態が続くなかで、ある中小建設会社では50歳以降は契約社員に切り替えて業務を進める方針を打ち出しており、各企業から疲労感がにじみ出ている。また、公共職業安定所では若者の来場が目立ってきているという話も耳にする。
		テーマパーク（職員）	単価の動き	・以前、客の一品単価は1,000円前後で推移していたが、最近では500円前後の商品でないと購入しない傾向が強い。前年同月比でも１割弱低下しており、客の価格に対する見方が厳しくなっている。
		競輪場（職員）	単価の動き	・入場者数は変わらないが、ビッグレースでも１人当たり車券購入単価が低下している。
企業動向	良くなっている	－	－	－

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
関連	やや良くなっている	輸送業（配車担当）	取引先の様子	・９月は月末だけでなく月初から物量が伸びている。紙製品は10月からの値上げということもあり、かなり増加した。また、食品関係ではメーカーによって増減があるため、昨年とそれほど変わっていない。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・通信分野ではまだまだ民需系が非常に苦しい戦いをしているが、自治体、公共部門は比較的伸びがよく、それなりに受注状況は上向いている。
	変わらない	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・数量面では依然として小ロット対応である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社ではこの１年間に固定費を徐々に削減している。３か月前との比較ではあまり変わらないが、１年前との比較では損益的に相当改善している。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・東京、大阪の大都市でマンション工事の引き合いが依然として多いものの、支払条件の厳しい案件の増加が目立ってきた。
		新聞販売店［広告］（従業員）	受注量や販売量の動き	・折込チラシの申込は依然低調のままで、取扱金額も前年実績を若干割っている。
		司法書士	取引先の様子	・卸売会社が取引先に担保の提供を要求するなど、厳しい経済状況が続いている。
	やや悪くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	それ以外	・９月初旬にシカゴで世界の３大工作機械展の一つが開催されたが、２年前の前回に比べて入場者は半減している。出展者は相当力を入れていたにもかかわらず、米国市場の実態の弱さが証明された結果となった。
		電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・春先から増加していたＩＴ関係の電子部品の受注は９月後半から減少の兆しがみられる。
		建設業（経営者）	競争相手の様子	・最近の公共工事の入札状況をみると、予定価格より25～30%も低いダンピングと思われる工事がみられる。また、これより低い価格のため低入札価格調査にかかり、契約が保留される工事も３か月前に比べて増加している。
	悪くなっている	－	－	－
雇用関連	良くなっている	－	－	－
	やや良くなっている	新聞社［求人広告］（担当者）	求人数の動き	・求人広告の動きは前年同月比で約５%増加している。７～９月の比較でも前年を若干上回る状況にまで回復している。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・アルミ産業や自動車部品産業からの求人依頼が増えている。また、郊外の超大型ショッピングセンターのオープンに伴う求人も来ている。
	変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規の求人数、新規の求職者数にあまり変動がない。
		学校［大学］（就職担当）	周辺企業の様子	・例年新卒者求人のある企業へ求人の打診をしたが、３社から業績低迷のため採用見送りとの回答があった。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数が低迷している。本来は上向くはずの時期であるが、なかなか波に乗れない。
	悪くなっている	－	－	－